

『自分のロータリーの原点を振り返って』

沼津RCが誕生した翌年の1月に生まれ、今年1月で65歳になりました。入会は2003年7月ですから既に14年が経ちました。

当時の会長は積PGで幹事は中学の同級生でもあった、元会員の鈴木一郎君でした。入会当時の会員の中には既に故人になられたり、かなりの会員が退会されており、現在の半数弱の会員が変わっているのではないかと思います。

同期の入会者は既に退会された、トマト薬局の町田君でした。静岡中央銀行の須山さん、鈴木薬局の鈴木典之君、沼津中央病院の故砂田先生でした。

ゴルフはしない、体のこともあり、夜の飲み会等の付き合いはしないなど、なかなか交際範囲が限られている中で、昼間のごく限られた時間の中で、異業種の方々と交流できる時間が、少しの間、日常の仕事を忘れる時間を作ってくれ、気分転換やリフレッシュする場として例会が自分に役立っていたと思います。

次に入会した時に在籍されていた医師会員を中心に思い出を述べます。

本多 伝先生 眼科医(故人) テーブルで隣になりお話をすることが度々ありましたが、やや耳が遠く会話が大変でした。電話よりFAXでのやり取りをした記憶があります。

大河原二郎PG 内科医(故人) お姿は何回か見たのですが、ちょっと近寄りがたく、親しく話をする機会がありませんでした。

杉山光男先生 耳鼻科医(故人) 会うたびに、ニコニコされ、お父さんは元気?と常に温かい言葉をかけてくださいました。

寺田 鼎先生 内科医(現会員) 積G年度の地区協議会や地区大会では救護班と一緒に務めました。

積 惟貞PG 外科医(現会員) 米山梅吉記念館理事長 入会時の会長で、入会前のR情報では、「無理しないでね」とやさしい言葉をかけられたのが印象的でした。入会后しばらくして、イラクから目の治療のため来日したモハメド君がマスコミに取り上げられ、例会場にもテレビカメラが入ったりして大きな騒ぎだったこともありました。

勝呂 衛先生 消化器科医(現会員) 沼津に戻った時に、父親に連れられて、最初に挨拶に行ったのが勝呂先生のお父様と衛先生でした。その後、診療面でも何かと相談に乗っていただき、沼津外科医会では会長に推薦していただき大変お世話になっております。

砂田嘉正先生 精神科医(故人) ほぼ同じ時期に入会しました(2003年8月入会)。物腰の柔らかいやさしい言葉遣いが印象的でした。何人も紹介患者さんを丁寧に診ていただきましたが、肺がんが見つかり療養のため退会されましたが、その後、ほどなくしてあっけなく亡くなってしまいました。

思い出に残る活動としては、今は休眠状態となってしまいましたが、2006~2007年にかけてのRACの活動の関わりでした(これがRACの事実上の最後の活動となってしまいましたが)。時の会長稲木さん、幹事の伊藤さんには全面的にサポートを受けましたが、会員の減少(一杉会員の退会により)などで開催も危ぶまれましたが、2007年1月に富士山吉原RCの高橋暁正PGをお呼びしてRAC年次大会を無事に行うことができました。

その後、2009年に鈴木啓司会長の時R財団委員長、2010年米山委員長、2011年財団プロジェクトリーダーとして、R財団奨学生 野田茂恵さんをイタリアに送り出しました。

2011年から2015年まで5年間にわたり米山梅吉記念館運営委員を務めました。

さて、来期はいよいよ会長への見習いが始まりです。不安や心配は当然ながらあり、自分にとっては未知への挑戦になるかと思えます。どの職業でもそうですが、常に前を向いて、日々進歩する新しい技術や知識を吸収する姿勢が大切のように、支えてくださるクラブの仲間とともにこれからのRにつなげられるランナーを目指して沼津RCの「襷」を渡せられればと考えております。

『私の趣味について』

私が沼津RCに入会したときのイニシエーションスピーチで色々なことを話させていただいたときに趣味の話もしましたが、十何年経ちまして、趣味も変わってきました。

あのと私の趣味は釣り、キャンプ、料理、ゴルフ、ギター等々でしたが、今は少しずつ変わってきました。キャンプはまだ子供たちがその年齢だったりして、近所の家族と一緒にわいわい言いながら出かけたりしていましたが、今はほとんど行かなくなってしまいました。それに変わって近頃は自宅で近所の仲間たちとバーベQや宴会をやっています。また、釣りに関しては体質が変わったのか餌のオキアミが海水で手が荒れてしまうようになり、もう何年も釣りに行けない状態になりました。料理も自宅のガスレンジがIHに変わり、火のない調理になり興味が少しなくなってきました。

引き続き趣味としてやっているのがゴルフです。最近では昔より練習量も増え、いろいろな教本やDVD等々を見ては練習場に通うのが日課になってきています。ゴルフの良いところは年齢がかさんでも続けられるスポーツだということではないでしょうか。実際ゴルフ場に行きますと私よりかなり高齢の先輩方が生き生きとゴルフをやっているのを見かけます。とても良い感じですが、私も今それを目指して、無理をせず、いかに力を入れないで体力を温存し、末永くプレーできるかをテーマに練習に励んでいます。

これからも趣味は増えるかと思えますが、広く浅く興味を持っていきたいなと思っております。





職業奉仕セミナー報告

職業奉仕委員会 委員長 白壁 浩之君

先月、吉野会長と職業奉仕セミナーに参加してきました。ご講演された、本田博己氏・志田洪顯氏、とても勉強になりました。ここでは主にメイン講師の本田先生についてまとめましたのでよろしくお願い致します。本田先生は、冒頭、「今日は、これまで『職業奉仕』に関してRのシニアリーダーが語ってきた話と全く違う話をします。いったん頭の中を白紙にして、私の話を聴いていただければ幸いです。初期のロータリアンが考え語っていたことを(原文で)たどってみると、Rの奉仕理念について新たな思いが生まれるかも知れません。」と言いました。一体なんだろう？と思いつつ講演会スタート。皆さんもお読みになられたと思いますが、2017年『Rの友』1月号で「職業奉仕は、Rの根幹か？」というお題で寄稿されました。読者の反応は、①我が意を得たり！大賛成。(1～2割) 奉仕プロジェクト委員長、海外クラブ経験者等 ②職業奉仕が根幹に決まっている。ガラパゴス化とは何事か！(2～3割) ベテラン会員、職業奉仕委員長等 ③難しい、何が問題かわからない。(過半数) または、無関心。(「職業奉仕」という言葉の使い方の)ズレを解消できないでいることが、日本のRの「ガラパゴス化」を招いている一因です。本質から乖離しているのはR Iではないか？日本人の職業観はガラパゴス化してはいない！という反発。私の主張の真意は、日本ロータリアンの職業観を否定することではありません。日本人の「職業奉仕」論は世界のRでは、意味不明で通じないということです。

要旨は、従来語られてきた日本の「職業奉仕」論と、R Iが推奨する「職業奉仕」は、内容が異なる。「職業奉仕」という言葉で、世界のロータリアンは、奉仕部門の一つとしての職業奉仕の活動を語り、日本のロータリアンは、「奉仕の理念」の職業への適用や自分自身の職業観を語っている。「職業奉仕」という言葉ではなく、世界共通の「奉仕の理念(奉仕の理想) (The Ideal of Service)」という言葉で、Rの理念についての議論を深めてゆこう、というのが私(本田)の提案の真意です。なぜなら、Rの目的は、奉仕の理念を奨励し、これを育むことであり、「奉仕の理念」がRの根幹であるからです。Rの目的(R I定款 第4条、標準RC定款 第5条)は、**意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。**標準RC定款 第6条 五大奉仕部門は、本RCの活動の哲学的および実際的な規準である。①奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、…「行動」(action) ②奉仕の第二部門である職業奉仕は、…「サービス」(service) ③奉仕の第三部門である社会奉仕は、…「取り組み」

(efforts) ④奉仕の第四部門である国際奉仕は、…「クラブの活動」「プロジェクト」(club activities, projects) ⑤奉仕の第五部門である青少年奉仕は、…「活動」「プロジェクト」「プログラム」(programs)です。世界のRでは、**自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人が行うものであれ、クラブが行うものであれ、すべて立派な「職業奉仕」の活動として活発に実践されている！**ですから、R Iが定義している「職業奉仕」とは、**RCの奉仕部門の一つとしての「職業奉仕」ということです。**職業奉仕=Vocational Service (形容詞) + (名詞) Vocational Service は、職業的なサービスであり、職業を使ったサービス。「職業奉仕」の定義は一つ。→五大奉仕部門の一つとしての「職業奉仕」(R Iの定義)日本の「職業奉仕」論は世界のロータリアンには通じません。日本の「職業奉仕」論の「思い込み」・固定観念は、この20～30年のシニアリーダーの言説の引用や孫引きを繰り返して、さらに都合のよい解釈も加えながら形成されてきたのではないかと。日本の「職業奉仕論」は「職業倫理論」Rは、昔も今も職業・倫理を大事にし、強調する集団。倫理・高潔性を大事に守ってきた。全世界のRCは一つの基本理念『奉仕の理念』を持っている。それは他人のことを思いやり、他人の助けになることである(チェスリー・R・ペリー)。

まとめると、「職業奉仕」から「奉仕の理念」へ。①「奉仕の理念」がRの根幹である。②「職業奉仕」の定義は一つ(R I)③日本の「職業奉仕」論は、職業倫理論。④Rの“Service”は、活動の広がりに伴い、最も広い意味で使われている。⑤「職業奉仕」という言葉ではなく、「奉仕の理念」とその実践について語ろう。

伝統的「職業奉仕論」で培ってきた日本のロータリアンの智恵を、共通言語の「奉仕の理念」で世界に発信してゆくことが重要。世界のRとの対話を通して、Rの「奉仕の理念」とその実践について共通認識を醸成してゆく姿勢が大事。そして何より「奉仕の理念」の実践を！「奉仕の理念」をこれからも大事に守り育て、人生やR運動の中で実践してゆけば、より良い世界の可能性と希望が見えてくる。ロータリアンであるとは、一つの生き方を選択したということです。Rの「奉仕の理念」は自分の生活の中に実現すべきもの。職業人であるロータリアンの拠りどころとなる実践的な人生哲学。Rの「奉仕の理念」の実践が、社会の中で自分を活かす道であり、社会をよい方向に導く強い力をもっていることを信じよう！Rの創始者であるポール・ハリス氏は、こう言っています。『一番いい時代はこれからだ！』



1. 例会変更のお知らせ

沼津北…2/27(火)は2/25(日)

静岡第3分区IM

2. 2018年国際ロータリー年次大会(トント大会)参加旅行募集案内が届いております

⇒お問い合わせは事務局まで

3. 「ロータリーの友」2月号 配布

東君…本日のリレートーク、昨年12月にドタキャンとなったものです。よろしくお願いいたします。
 峯尾君…ロータリーの友2月号に、沼津RC発の記事が載りました。4校合同インターアクトクラブの記事です。皆様、読んでください。
 三好君…配偶者誕生日のお祝いをありがとうございます。妻は、いくつになったのかな？
 大熊君…結婚記念日のプレゼントありがとうございます。お互いの我慢が実り19年が経ちました。
 寺田君…誕生日のお祝いありがとうございました。
 吉野君…移動例会でうなぎ処京丸さんにお世話になりました。塚本君ありがとうございます。また、本日はイベント主催者のため欠席します。細澤副会長、よろしくお願いいたします。

ロータリーの標語
超我の奉仕
 Service Above Self

2017年7月度 出席一覧表 出席委員会

氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		出席計算に用いた 会員延数 135名 例会出席% 85.93 地区報告% 93.33 ※出席回数・当C欄の 枠入数字はホームクラ ブ100%を示す。
	当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C	
東	3	0	北澤	2	0	野際	3	0	杉山	3	0	渡邊(洋)	3	0	
道前	3	0	高地	2	0	能見	2	0	勝呂	3	0	渡邊(芳)	2	1	
藤田	3	0	楠木	1	1	大熊	1	2	寺田	3	0	山口	3	0	
服部	3	0	峯村	3	1	奥村	3	0	辻	3	0	山本	3	0	
細澤	3	0	峯尾	1	2	大村	3	0	塚本	2	0	吉野	3	2	
石川(秀)	2	0	三好	2	0	大友	2	1	上田	2	1				
石川(三)	3	0	望月	2	0	向坂	3	0	渡辺(好)	3	0				
石渡	3	0	森藤	2	1	清積	3	0	渡邊(雅)	3	0				
實石	3	0	村上	3	0	積	3	4	渡邊(真)	2	1				
金子	3	0	長橋	3	0	白壁	3	0	渡邊(秀)	2	0				

2017年8月度 出席一覧表 出席委員会

氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		出席計算に用いた 会員延数 135名 例会出席% 85.19 地区報告% 92.59 ※出席回数・当C欄の 枠入数字はホームクラ ブ100%を示す。
	当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C	
東	3	0	北澤	2	0	野際	2	0	杉山	3	0	渡邊(洋)	2	1	
道前	3	0	高地	2	0	能見	2	1	勝呂	3	0	渡邊(芳)	3	0	
藤田	2	1	楠木	2	0	大熊	2	1	寺田	3	0	山口	3	1	
服部	3	0	峯村	1	2	奥村	2	1	辻	3	0	山本	2	1	
細澤	3	1	峯尾	2	1	大村	3	0	塚本	1	0	吉野	3	2	
石川(秀)	3	1	三好	2	0	大友	3	0	上田	3	0				
石川(三)	3	0	望月	1	0	向坂	3	0	渡辺(好)	3	0				
石渡	3	0	森藤	3	0	清積	3	0	渡邊(雅)	3	0				
實石	3	1	村上	3	1	積	3	1	渡邊(真)	3	0				
金子	2	1	長橋	3	0	白壁	3	0	渡邊(秀)	2	0				

2017年9月度 出席一覧表 出席委員会

氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		氏名	出席回数		出席計算に用いた 会員延数 178名 例会出席% 82.58 地区報告% 96.63 ※出席回数・当C欄の 枠入数字はホームクラ ブ100%を示す。
	当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C		当C	他C	
東	4	1	北澤	4	0	野際	3	0	杉山	4	0	渡邊(洋)	2	2	
道前	2	1	高地	4	0	能見	3	1	●勝呂	2	0	渡邊(芳)	4	0	
藤田	4	0	楠木	4	0	大熊	3	1	寺田	4	0	山口	0	4	
服部	4	1	峯村	4	0	奥村	4	0	辻	4	0	山本	1	3	
細澤	4	1	峯尾	3	1	大村	4	1	塚本	4	0	吉野	4	1	
石川(秀)	4	2	三好	3	0	大友	3	1	上田	4	0				
石川(三)	3	1	望月	2	0	向坂	4	0	渡辺(好)	4	0				
石渡	3	1	森藤	2	2	清積	3	1	渡邊(雅)	4	0				
實石	2	2	村上	4	1	積	3	3	渡邊(真)	4	0				
金子	2	2	長橋	4	0	白壁	4	0	渡邊(秀)	2	1				

●は出席免除者